

News Release

報道関係各位

2018年3月29日

株式会社バイキューブ

2017年国内Web会議市場で バイキューブグループが11年連続シェアNo. 1を獲得

株式会社バイキューブ（本社：東京都目黒区、代表取締役社長：間下直晃、以下バイキューブ）は、2018年3月26日（月）に株式会社シード・プランニングから発行されました『2018 ビデオ会議/Web会議の最新市場とクラウドビデオコミュニケーションの現状』において、「ASP（SaaS）型」および、同「ASP（SaaS）型+SI（オンプレミス）型」の分野におけるシェアNo. 1を獲得しました。バイキューブの国内Web会議市場におけるシェアNo. 1は、11年連続となります。

バイキューブは2004年にWeb会議をはじめとするビジュアルコミュニケーションサービスの事業を開始して以来、人と人が会って話す様々なシーンにおける時間と距離の障壁を取り払うことに注力してまいりました。特に昨年から「働き方改革」が大きく注目されるようになり、業務効率化とそれによる生産性の向上を実現するコミュニケーションサービスには大きな期待が寄せられています。

このような流れの中で私たちバイキューブは、コミュニケーションインフラを提供する企業として社会に一層の貢献をするため、昨年10月に新しいショルダーコピー「テレワークで日本を変える」を掲げました。Web会議システムの提供に加えて、オフィスや自宅以外で働ける場所を確保できる「テレキューブ」の販売を開始するなど、「いつでも」「どこでも」働ける環境の整備に尽力しています。

お客様の活用シーンは会議だけではなくありません。オンライン営業やカスタマーサポート、採用面談など、遠隔のコミュニケーションは職種を問わず日々の業務に広まっています。また、製造業や建設業の現場の保守サポート、設備メンテナンス、緊急対策現場といった専門的な業務支援にも採用されています。さらに、協働学習や遠隔授業、遠隔診療といった教育や医療現場への採用も進んでおり、ビジネスだけでなく生活での活用も進んでいます。

バイキューブは24時間365日のサポート体制や国内外で快適に利用できる環境整備など、日本企業ならではの高品質なサービスを通して、日本の働き方やライフスタイルの変化を支援し、豊かな社会作りに貢献してまいります。

2018 ビデオ会議/Web会議の最新市場とクラウドビデオコミュニケーションの現状
～クラウドサービス、AI、新規ビジネス、働き方改革等との関連～

ビデオコミュニケーション（以下VC）の調査レポートを発刊してから15年になります。この15年間でVC業界は大きく変化しました。1994年にインターネットが始まり、1995年にグーグルが設立されました。1999年ネットバブル崩壊、NTTドコモ・iモード開始、2000年アマゾン日本進出、2001年アップル・iPod発売、2004年スカイプ、2005年YouTube、Facebook、2006年デジカメが銀塩カメラを越えます。2007年スマートフォン発売、2008年リーマンショックが起こり、2010年iPad発売など、市場環境が大きく変化しました。

またこの15年間でデバイスの市場も変化しました。日本が優勢であったテレビ、携帯電話市場は、いまや中国、韓国勢が優勢です。ネット関係では、アップル、アマゾン、グーグル、マイクロソフト、シスコの外資系が重要な位置を占めています。また、VC関連においても他の技術との融合が起きています。例えばAI、ロボット、IoT、VRなどです。

今回の調査はビデオ会議/Web会議/音声会議の製品動向・市場動向・企業動向とビデオコミュニケーションに関連するクラウドサービスの動向をまとめたレポートです。また、取材企業への中小企業、AI、働き方改革のコメントも掲載しました。

【ブイキューブとは】

ブイキューブは、企業の「働き方改革」を実現するビジュアルコミュニケーションサービス事業を展開しています。国内Web会議サービス（SaaS）市場において11年連続トップシェアを達成。Web会議やテレビ会議、Webセミナーによって、多様な働き方を実現するため、「いつでも」「どこでも」「だれでも」コミュニケーションが可能な社会を実現し、ビジネスだけでなく、教育や医療などライフスタイルも革新していくことを目指しています。

【会社概要】

商号 : 株式会社ブイキューブ (V-cube, Inc.)
URL : <http://jp.vcube.com/>

【報道関係のお問い合わせ先】

株式会社ブイキューブ 社長室 広報担当
TEL : 03-5768-3308 FAX : 03-6866-5601 E-mail : release@pj.vcube.co.jp